

# 平成26年4月 全国百貨店売上高概況

平成26年5月20日

## I. 概況

1. 売上高総額	4,172億円余
2. 前年同月比	-12.0% (店舗数調整後/6か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	84社 241店 (平成26年3月対比-1社1店)
4. 総店舗面積	6,180,106㎡ (前年同月比:-1.0%)
5. 総従業員数	80,021人 (前年同月比:-2.6%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	9-11月 1.5%、10-12月 1.3%、11-1月 2.3%、 12-2月 2.4%、1-3月 11.0%、2-4月 6.5%

[参考] 平成25年4月の売上高増減率は-0.5% (店舗数調整後)

### 【4月売上の特徴】

消費税率引上げに伴う駆け込み需要(+25.4%)の反動から、二桁減(-12.0%)となったが、前回の引上げがあった`97年(3月:+23.0%/4月:-14.0%)との比較では、3月の伸び率が2.4ポイント上回った一方で、4月の減少幅は2.0ポイント縮まっており、相対的に底堅い動きを示した。

今年4月は、税率引上げ直後に駆け込み需要の反動が大きく出ていたものの、週を追う毎に影響は和らいで来た他、各店の対策で集客・販促企画が積極展開されたことや好天に恵まれたこともあり、月末には前年実績に近い水準まで戻す店も見られた。

地区別では、増床・改装効果のある大阪(-9.0%)を除く全ての地区で二桁減となり、若干ではあるが、大都市(10都市:-11.2%)が地方(10都市以外:-13.6%)を上回る形で推移した。

商品別には、駆け込み需要で前月大幅伸長した、美術・宝飾・貴金属(-38.9%)、高級寝具・呉服(その他衣料品:-24.2%)、家具(-18.3%)などの高額商材や、まとめ買いの影響が見られた化粧品(-20.9%)などの減少率が大きく出た半面、主力の衣料品(-12.2%)や食料品(-4.7%)は、駆け込みによる伸びが相対的に低かったことから、反動の影響も小さく、商況全体を下支えする要因となった。なお、品目別の`97年4月との対比では、主要5品目の内、雑貨を除く4品目で減少幅は小さくなっている。

その他特徴的な動向としては、訪日外国人について、花見客を中心とした訪日需要の高まりから、中華圏(中国、台湾等)とアセアン(タイ、シンガポール等)を中心に、売上(+54.3%)・客数(+64.8%)共に大幅な伸びを続け、単月として過去最高の売上(約61億円)を記録するなど、特に大都市において商況を牽引したことが報告されている。

### 【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「4月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇月を通して日本付近を低気圧と高気圧が交互に通り、天気は周期的に変わったが、全国的に高気圧に覆われて晴れる日が多かった。北日本から西日本にかけて月平均気温は平年並みだった。

(2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日( // ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数136店舗)

①増加した:25店、②変化なし:30店、③減少した:81店

(5) 4月歳時記(春物商戦、新生活、花見、昭和の日)の売上(同上/有効回答数106店舗)

①増加した:2店、②変化なし:28店、③減少した:76店

# 全国百貨店 売上高速報 2014年04月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全国</b>	<b>417,213,038</b>	<b>100.0</b>	<b>-12.0 ( -12.5)</b>
<b>10都市</b>	<b>281,003,620</b>	<b>67.4</b>	<b>-11.2 ( -11.8)</b>
札幌	10,105,902	2.4	-14.2
仙台	5,793,608	1.4	-16.4
東京	108,554,024	26.0	-10.8 ( -12.4)
横浜	25,118,296	6.0	-10.4
名古屋	24,825,944	6.0	-12.8
京都	16,430,569	3.9	-12.8
大阪	57,542,827	13.8	-9.0
神戸	10,634,338	2.5	-14.5
広島	8,896,631	2.1	-13.3
福岡	13,101,481	3.1	-10.3
<b>10都市以外の地区</b>	<b>136,209,418</b>	<b>32.6</b>	<b>-13.6 ( -13.9)</b>
北海道	2,200,532	0.5	-17.2
東北	7,237,213	1.7	-11.6
関東	64,784,841	15.5	-13.0 ( -12.9)
中部	10,808,550	2.6	-14.0
近畿	13,921,242	3.3	-13.5
中国	9,241,587	2.2	-16.4
四国	6,958,606	1.7	-14.3 ( -20.4)
九州	21,056,847	5.0	-14.0

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>417,213,038</b>	<b>100.0</b>	<b>-12.0 ( -12.5)</b>
紳士服・洋品	30,910,708	7.4	-7.9 ( -8.4)
婦人服・洋品	98,417,106	23.6	-11.9 ( -12.5)
子供服・洋品	12,992,142	3.1	-15.0 ( -15.1)
その他衣料品	8,554,531	2.1	-24.2 ( -24.5)
<b>衣 料 品</b>	<b>150,874,487</b>	<b>36.2</b>	<b>-12.2 ( -12.7)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>54,706,228</b>	<b>13.1</b>	<b>-12.0 ( -12.9)</b>
化粧品	20,836,858	5.0	-20.9 ( -21.1)
美術・宝飾・貴金属	15,682,313	3.8	-38.9 ( -40.3)
その他雑貨	17,814,651	4.3	-9.1 ( -9.3)
<b>雑 貨</b>	<b>54,333,822</b>	<b>13.0</b>	<b>-24.1 ( -24.9)</b>
家具	5,211,217	1.2	-18.3 ( -20.5)
家電	1,067,232	0.3	-21.7 ( -21.7)
その他家庭用品	13,845,884	3.3	-16.2 ( -16.5)
<b>家庭用品</b>	<b>20,124,333</b>	<b>4.8</b>	<b>-17.1 ( -17.8)</b>
生鮮食品	23,647,773	5.7	-5.2 ( -5.3)
菓子	28,595,597	6.9	-4.2 ( -4.5)
惣菜	26,065,458	6.2	-1.8 ( -2.0)
その他食料品	30,882,468	7.4	-6.9 ( -7.1)
<b>食 料 品</b>	<b>109,191,296</b>	<b>26.2</b>	<b>-4.7 ( -4.8)</b>
食堂 喫茶	13,189,187	3.2	-6.3 ( -6.5)
サービス	5,925,693	1.4	-0.4 ( -0.4)
そ の 他	8,867,992	2.1	-6.3 ( -6.5)
<b>商 品 券</b>	<b>12,380,782</b>	<b>3.0</b>	<b>-8.1 ( -8.1)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

- |                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| 1. 10都市売上動向      | -11.2% (店舗数調整後/9か月ぶりマイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -13.6% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス) |

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>-11.2</b>	<b>-7.4</b>	<b>9か月ぶりマイナス</b>
札幌	-14.2	-0.4	9か月ぶりマイナス
仙台	-16.4	-0.2	2か月ぶりマイナス
東京	-10.8	-2.8	9か月ぶりマイナス
横浜	-10.4	-0.6	6か月ぶりマイナス
名古屋	-12.8	-0.8	9か月ぶりマイナス
京都	-12.8	-0.5	6か月ぶりマイナス
大阪	-9.0	-1.2	18か月ぶりマイナス
神戸	-14.5	-0.4	3か月ぶりマイナス
広島	-13.3	-0.3	3か月ぶりマイナス
福岡	-10.3	-0.3	6か月ぶりマイナス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>-13.6</b>	<b>-4.5</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
北海道	-17.2	-0.1	3か月ぶりマイナス*
東北	-11.6	-0.2	4か月ぶりマイナス*
関東	-13.0	-2.0	2か月ぶりマイナス
中部	-14.0	-0.4	3か月ぶりマイナス
近畿	-13.5	-0.5	2か月ぶりマイナス
中国	-16.4	-0.4	6か月ぶりマイナス*
四国	-14.3	-0.2	6か月ぶりマイナス
九州	-14.0	-0.7	3か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、'12年10月以来18か月ぶりに全品目がマイナスとなった。また、先月の駆け込み需要の反動から、その他の品目もすべてマイナスとなったが、紳士服・洋品、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品は一桁のマイナスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-12.0</b>	<b>—</b>	<b>6か月ぶりマイナス</b>
紳士服・洋品	-7.9	-0.6	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-11.9	-2.8	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-15.0	-0.5	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-24.2	-0.6	4か月ぶりマイナス
<b>衣料品</b>	<b>-12.2</b>	<b>-4.4</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-12.0</b>	<b>-1.6</b>	<b>9か月ぶりマイナス</b>
化粧品	-20.9	-1.2	6か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	-38.9	-2.1	20か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-9.1	-0.4	4か月ぶりマイナス*
<b>雑貨</b>	<b>-24.1</b>	<b>-3.6</b>	<b>18か月ぶりマイナス</b>
家具	-18.3	-0.2	9か月ぶりマイナス
家電	-21.7	-0.1	3か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-16.2	-0.6	5か月ぶりマイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-17.1</b>	<b>-0.9</b>	<b>7か月ぶりマイナス</b>
生鮮食品	-5.2	-0.3	4か月ぶりマイナス*
菓子	-4.2	-0.3	5か月ぶりマイナス*
惣菜	-1.8	-0.1	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	-6.9	-0.5	3か月ぶりマイナス*
<b>食料品</b>	<b>-4.7</b>	<b>-1.1</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-6.3</b>	<b>-0.2</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-0.4</b>	<b>0.0</b>	<b>5か月ぶりマイナス</b>
<b>その他</b>	<b>-6.3</b>	<b>-0.1</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-8.1</b>	<b>-0.2</b>	<b>38か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>